

# 物部川清流保全推進協議会「第6回物部川水環境勉強会」 鳥獣対策の現状について



高知県鳥獣対策課

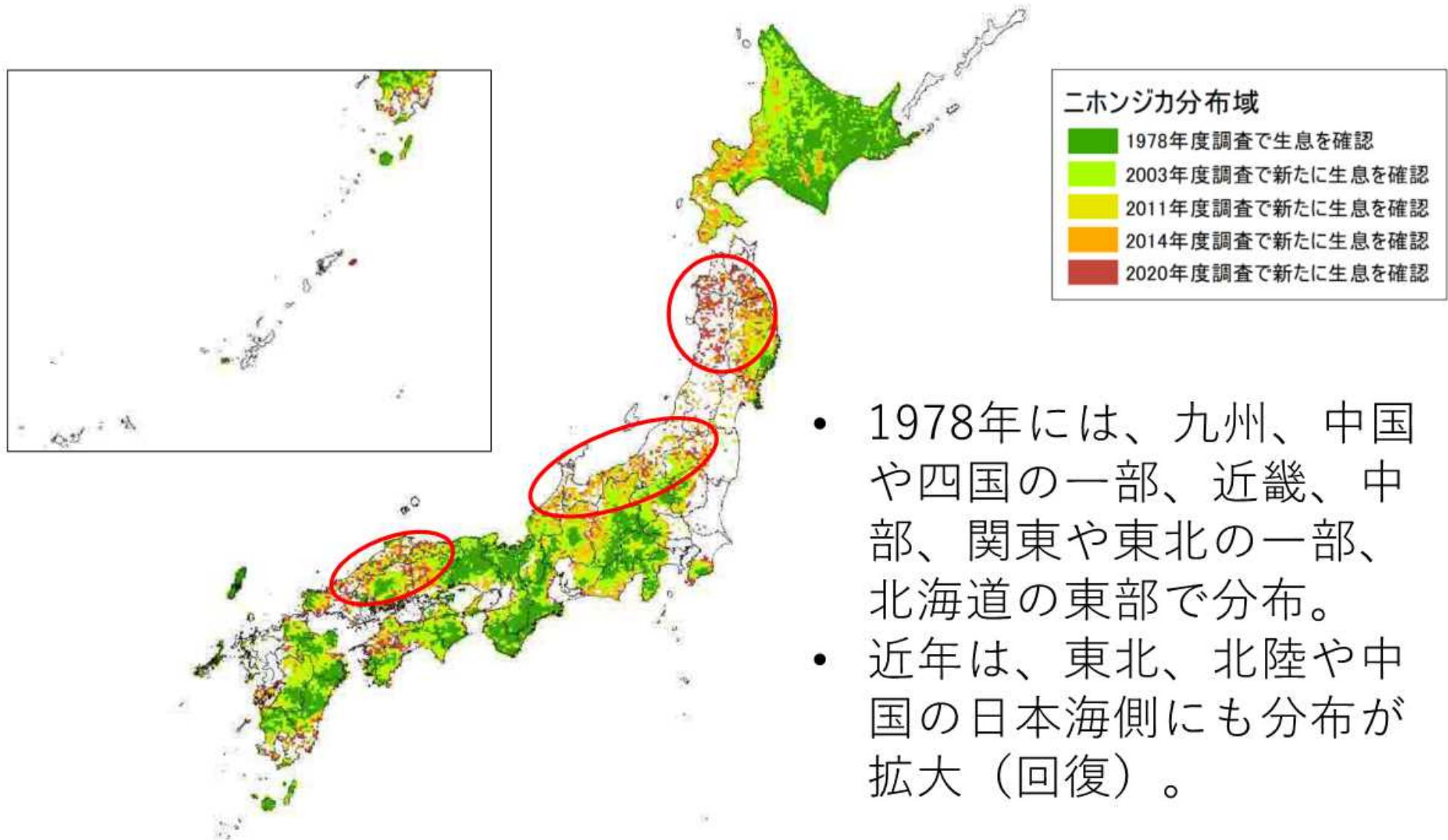
# 高知県の二ホンジカ対策

1. 国内、県内の二ホンジカ被害の現状
2. 第二種特定鳥獣（二ホンジカ）  
保護管理計画について
3. 高知県の鳥獣被害の状況と対策について

# 高知県の二ホンジカ対策

1. 国内、県内の二ホンジカ被害の現状
2. 第二種特定鳥獣（二ホンジカ）  
保護管理計画について
3. 高知県の鳥獣被害の状況と対策について

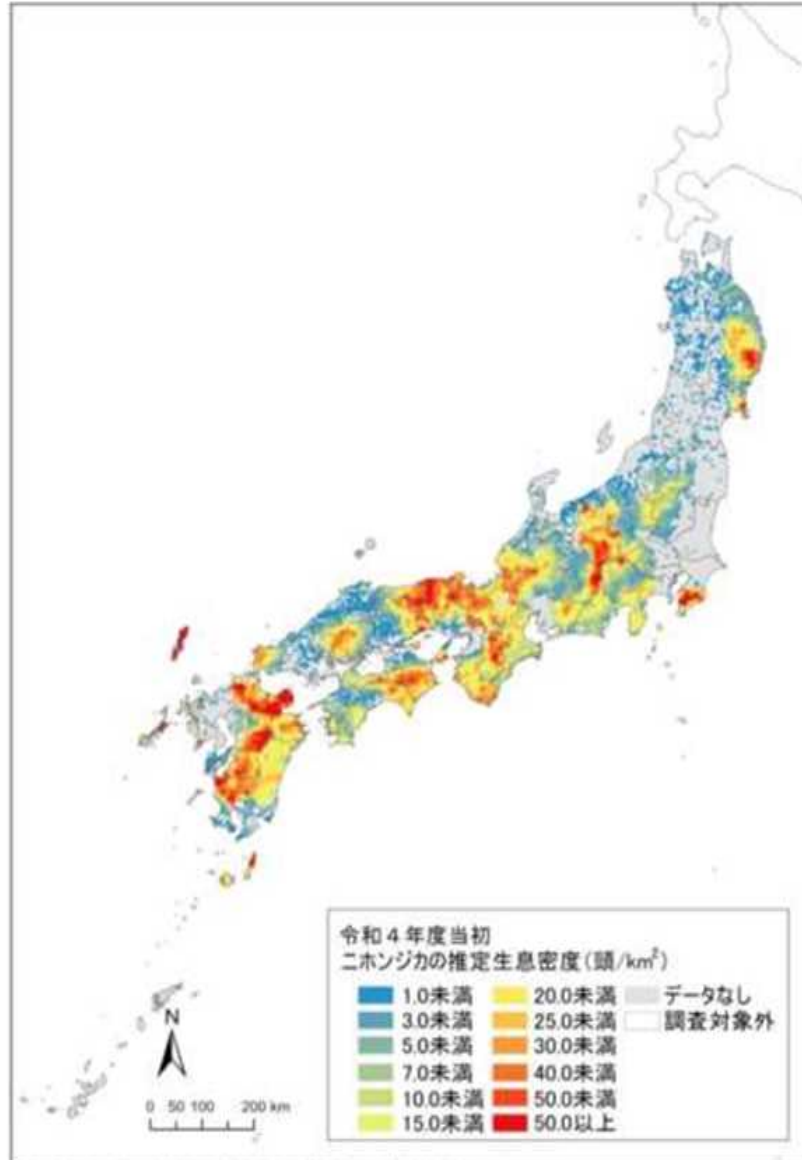
# 1. 国内、県内のニホンジカ被害の現状



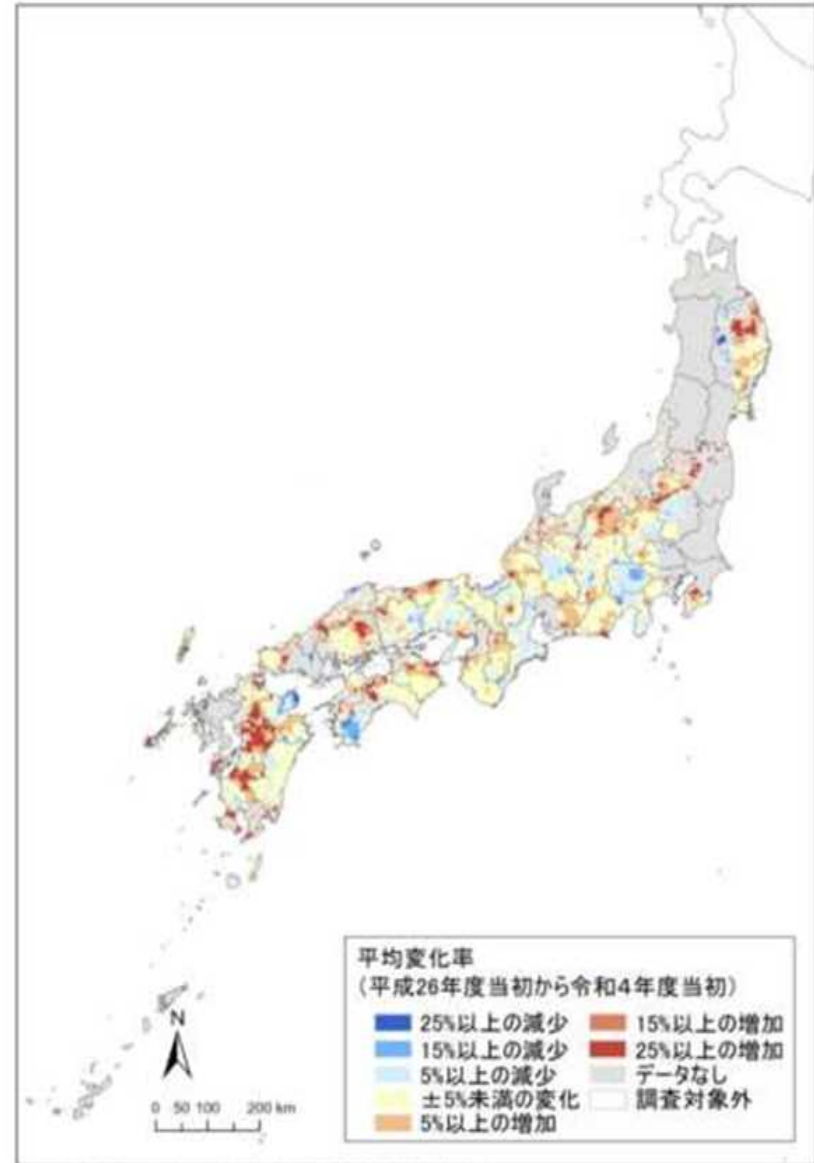
ニホンジカの分布

# 1. 国内、県内のニホンジカ被害の現状

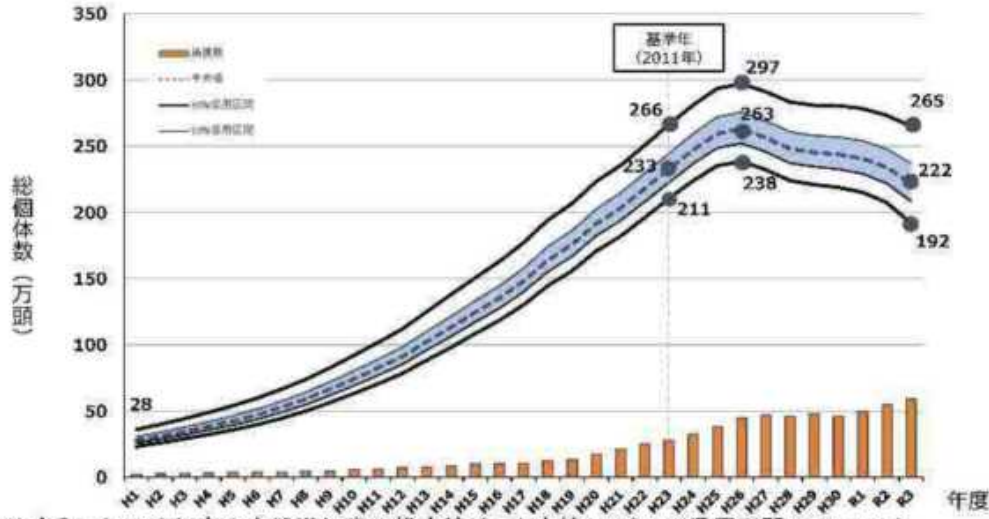
令和4年度（2022年度）当初  
ニホンジカ推定生息密度分布図



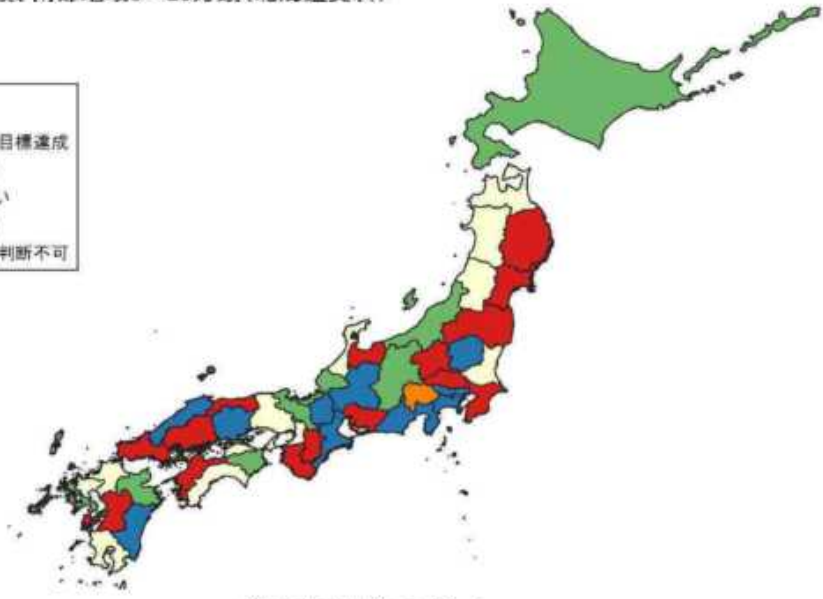
推定密度の平均変化率図  
(H26年度当初からR4年度当初)



# 1. 国内、県内のニホンジカ被害の現状



※ 令和3(2021)年度の自然増加率の推定値は、中央値1.20(90%信用区間:1.17-1.23)  
※ 令和3(2021)年度の北海道の推定個体数は、東部地域31万頭、北部地域18万頭、中部地域20万頭、南部地域3~20万頭(北海道資料)

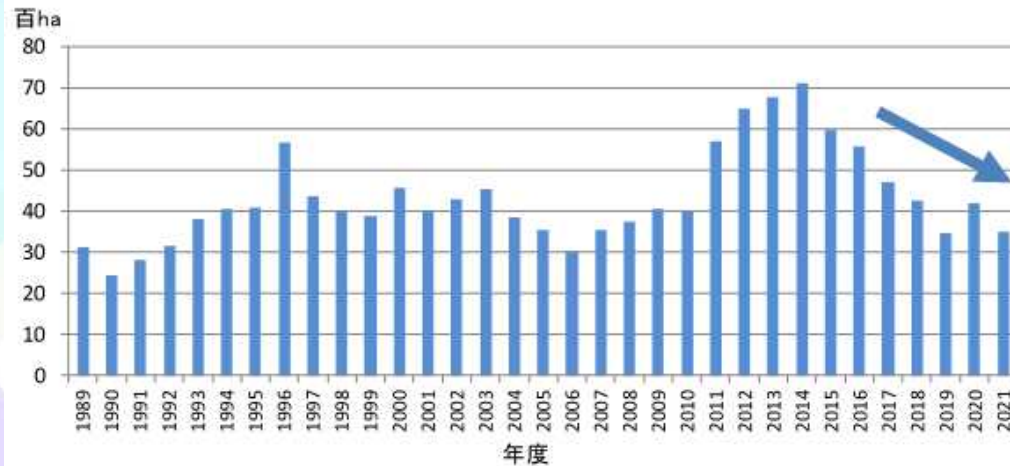


推定個体数の傾向

都道府県の特定計画、環境省が集計した都道府県別個体数推定結果等から作成

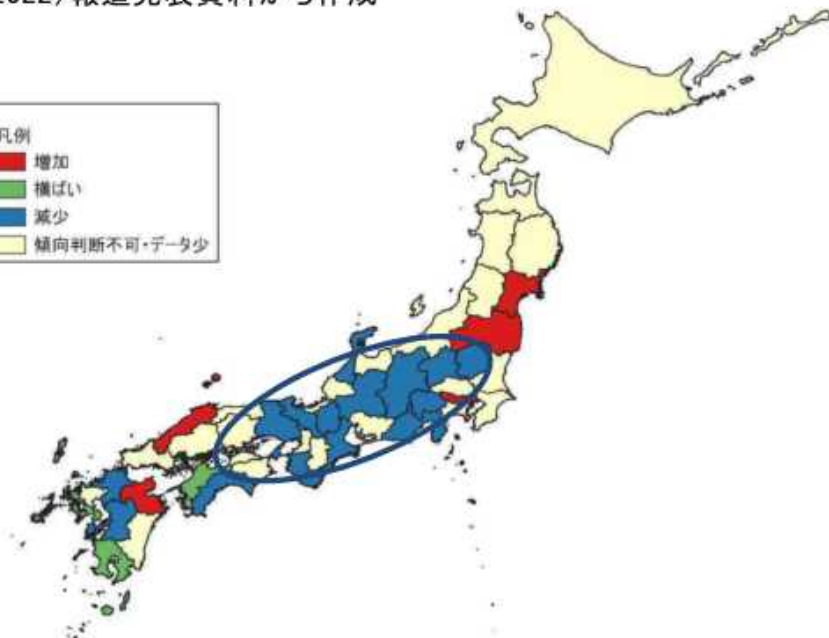
- 全国※北海道を除く
- ニホンジカの個体数は2014年度をピークに減少傾向が継続しているが、依然として高い水準。
- 国は半減目標を2028年度まで延長
- 都道府県別
- 地域的な傾向が見えにくいですが、東北では増加している。

# 1. 国内、県内の二ホンシジカ被害の現状



森林被害面積

林野庁(2022)報道発表資料から作成



森林被害面積の状況

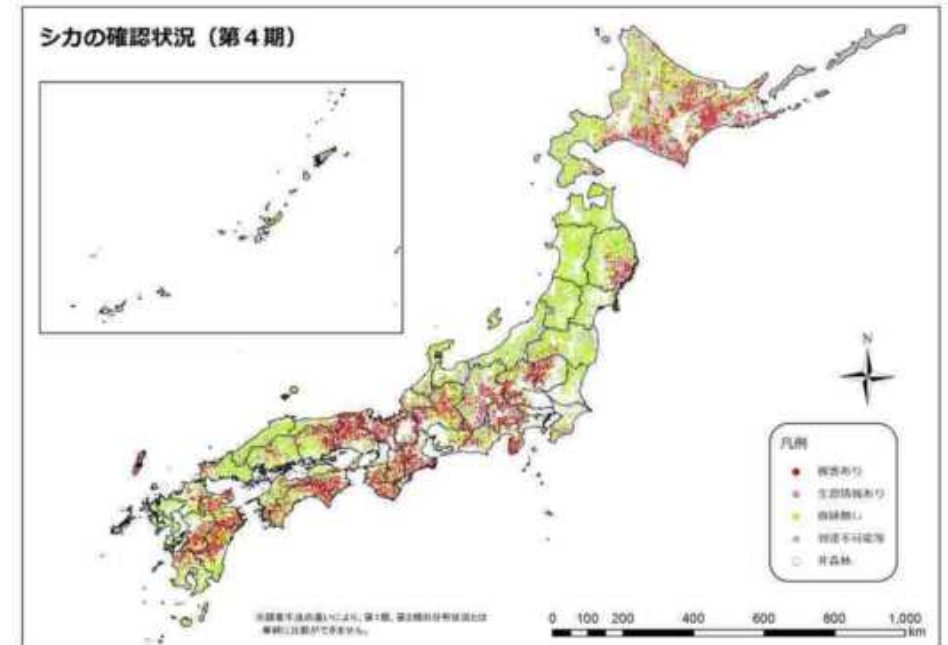
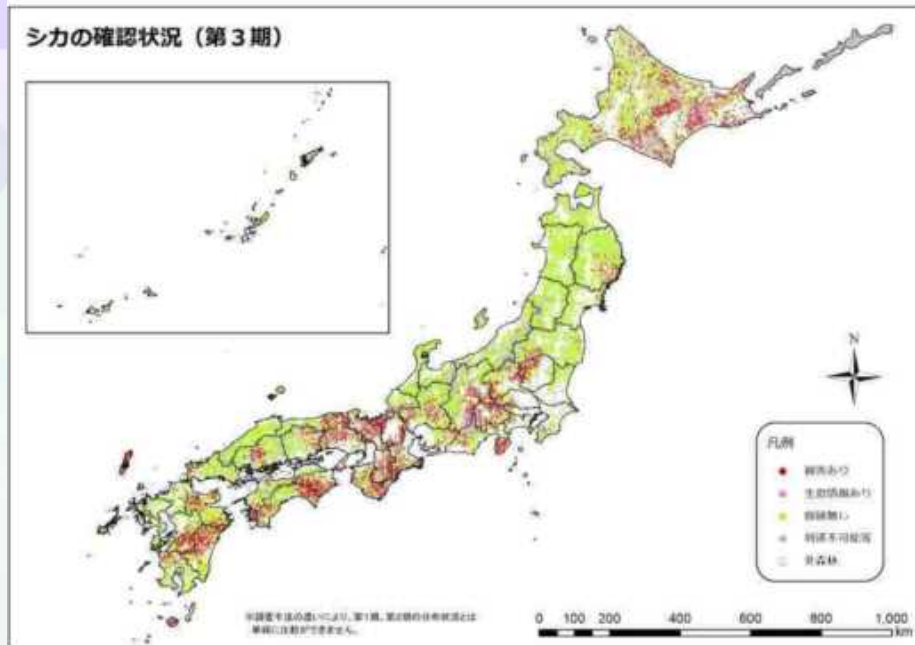
- 全国
- 近年は減少傾向。

- 都道府県別
- 西日本から関東にかけて、1970年代から生息が確認されていた地域で減少傾向。
- データが少なく傾向判断ができない地域が多いが、東北等で増加傾向。

# 1. 国内、県内のニホンジカ被害の現状

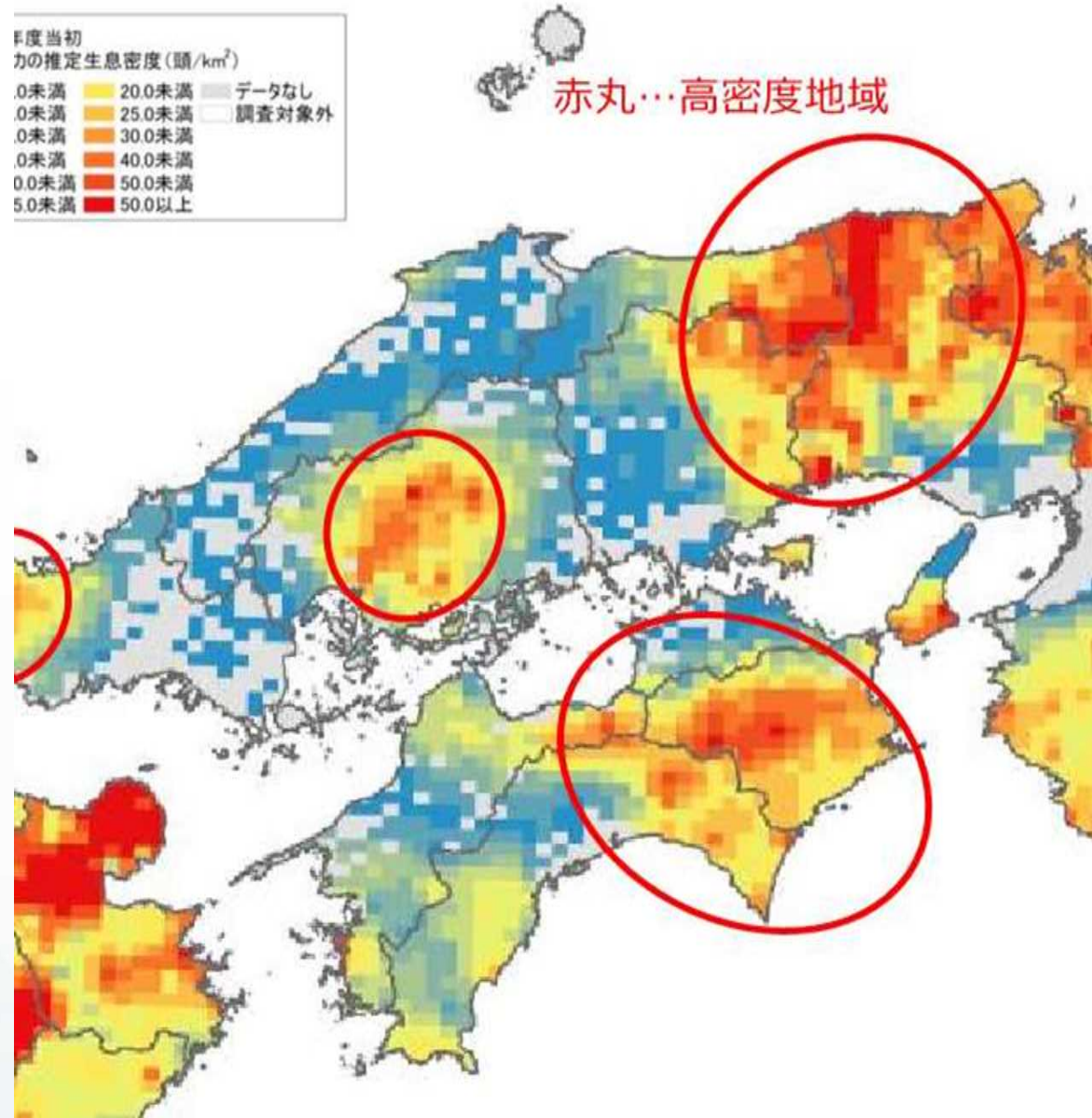
- 第3期調査（2009～2013年度）と比べ第4期調査（2014～2018年度）ではシカの被害が確認された地点数は増加。

	合計 (シカの情報が確認された調査点数)	シカの被害が確認された調査点数	シカの生息のみが確認された調査点数(被害なし)
第3期	3,979	2,890	1,089
第4期	4,942	4,044	898





# 1. 国内、県内の二ホンジカ被害の現状



# 1. 国内、県内のニホンジカ被害の現状

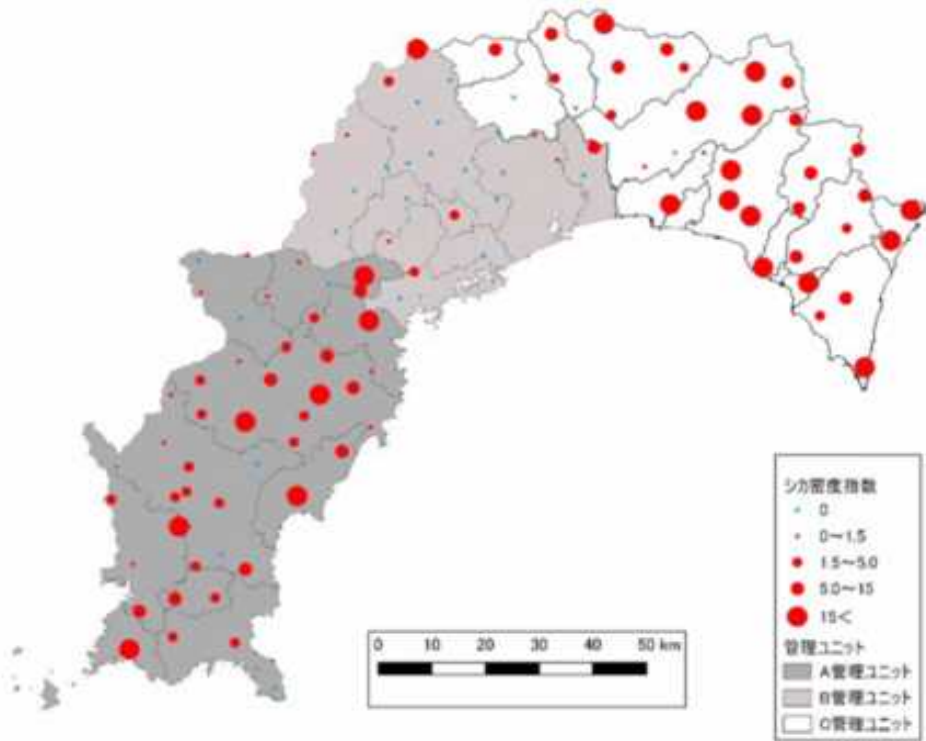


図4. 糞粒調査により算出したシカの生息密度分布（令和2年度）

表4. 高知県全県におけるシカの生息状況

	全県
推定自然増加頭数 (90%信頼限界)	16,556 頭 (7,286 頭~25,407 頭)
推定自然増加率 (90%信頼限界)	21.5% (7.9%~33.0%)
推定生息数 (90%信頼限界)	74,747 頭 (52,070 頭~112,392 頭)

表5. A管理ユニットおよびC管理ユニットにおけるシカの生息状況

	A管理ユニット	C管理ユニット
推定自然増加頭数 (90%信頼限界)	6,218 頭 (3,506 頭~8,744 頭)	8,216 頭 (3,350 頭~13,591 頭)
推定自然増加率 (90%信頼限界)	27.9% (13.8%~36.2%)	19.0% (6.6%~31.2%)
推定生息数 (90%信頼限界)	20,054 頭 (13,652 頭~30,585 頭)	41,517 頭 (28,370 頭~65,504 頭)

シカ個体数調査（令和2年度）

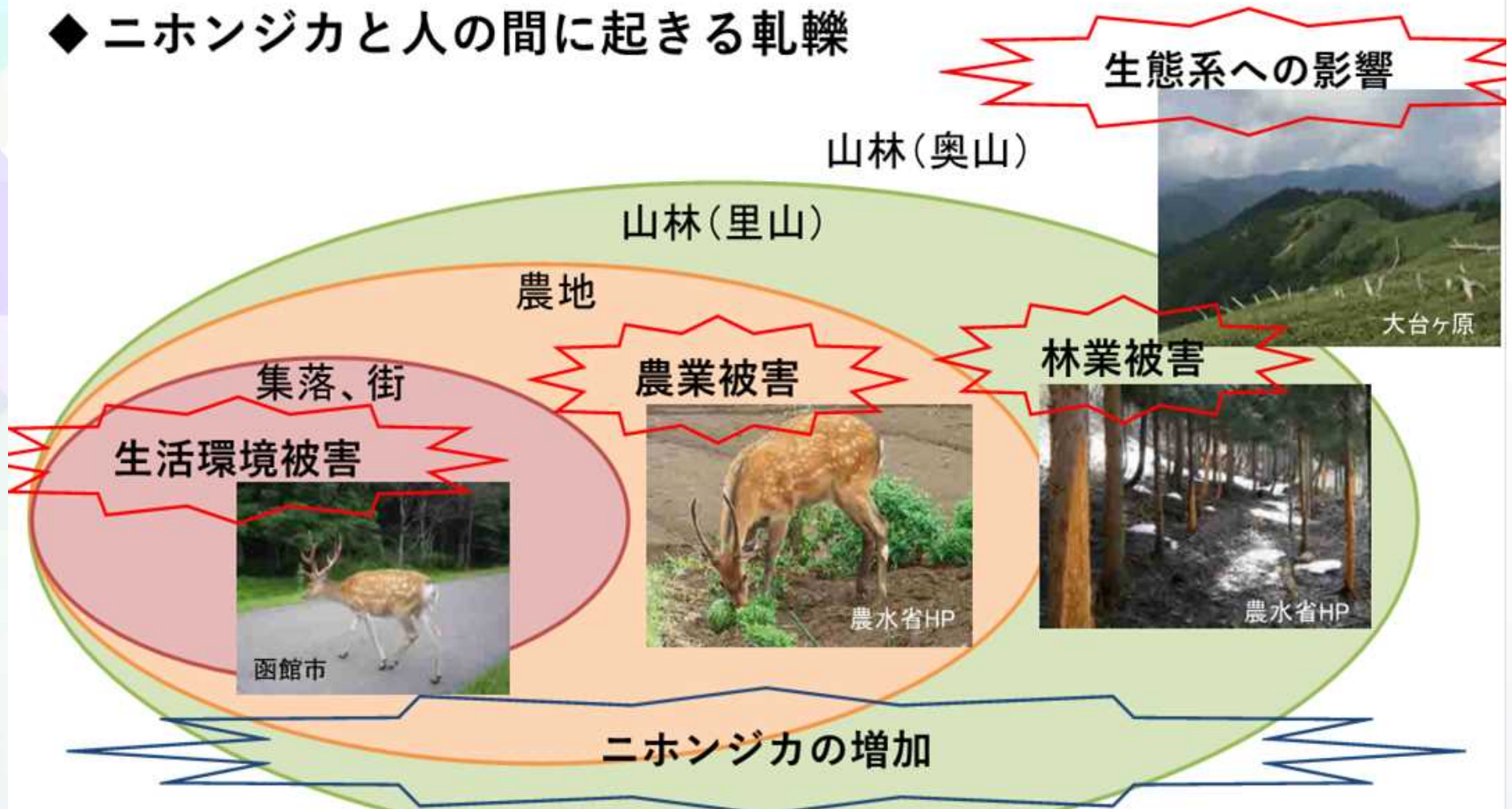
# 高知県の二ホンジカ対策

1. 国内、県内の二ホンジカ被害の現状
2. 第二種特定鳥獣（二ホンジカ）  
保護管理計画について
3. 高知県の鳥獣被害の状況と対策について

## 2. 第二種特定鳥獣（ニホンジカ）保護管理計画について

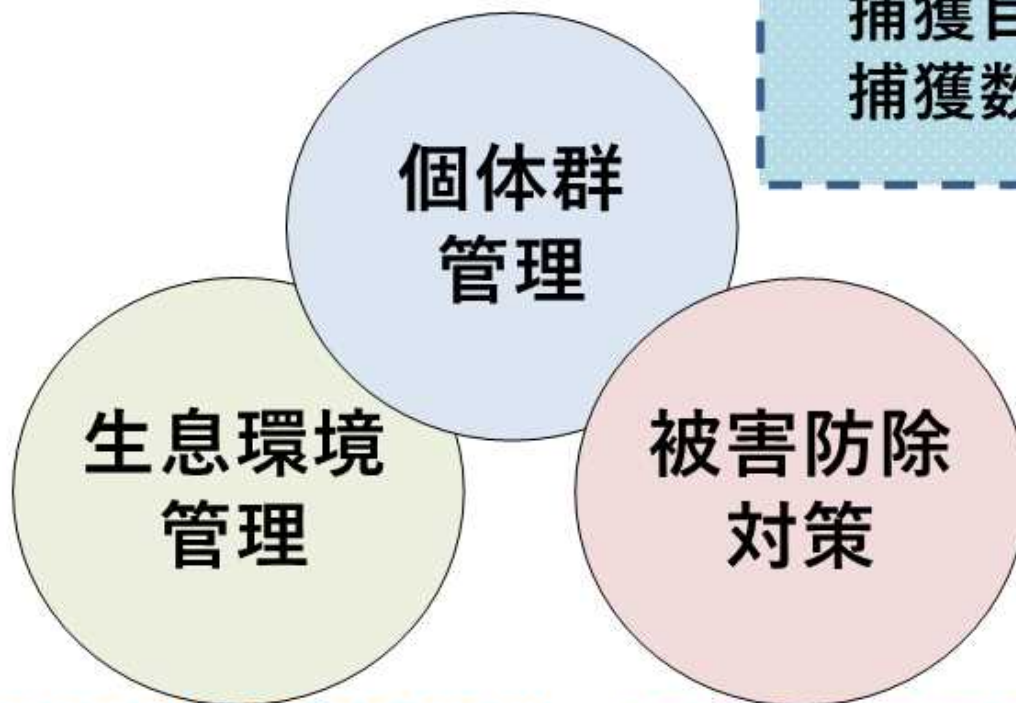
目的 科学的・計画的な保護又は管理を広域的・継続的に推進することにより、人と鳥獣との適切な関係の構築に資すること

### ◆ ニホンジカと人の間に起きる軋轢



## 2. 第二種特定鳥獣（ニホンジカ）保護管理計画について

### 【ニホンジカの場合】



**【個体群管理】**  
捕獲目標頭数の設定  
捕獲数の配分

**【生息環境管理】**  
人の生活圏に近づけない管理  
山林における環境管理

**【被害防除対策】**  
農業被害の防除  
林業被害の防除  
生態系への影響軽減対策

## 2. 第二種特定鳥獣（ニホンジカ）保護管理計画について

### ● 年間捕獲目標頭数

	A管理 ユニット	B管理 ユニット	C管理 ユニット	全 県
オスジカ	3,500	1,000	8,000	12,500
メスジカ	3,500	1,000	8,000	12,500
合 計	7,000	2,000	16,000	25,000

### 捕獲目標達成に向けて

- ・ 狩猟期間の延長（11/15～3/31）
- ・ ツキノワグマ生息推定区域を除いてくくりわなの規制解除
- ・ 狩猟による捕獲への報奨金支払い（平成20年度から）

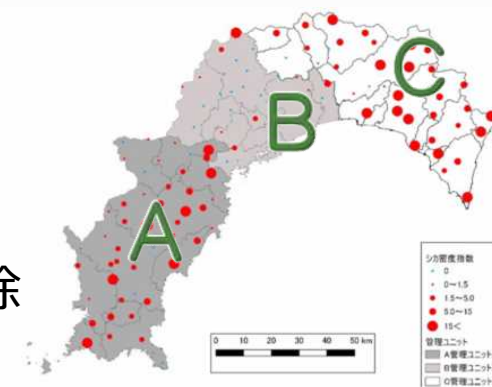
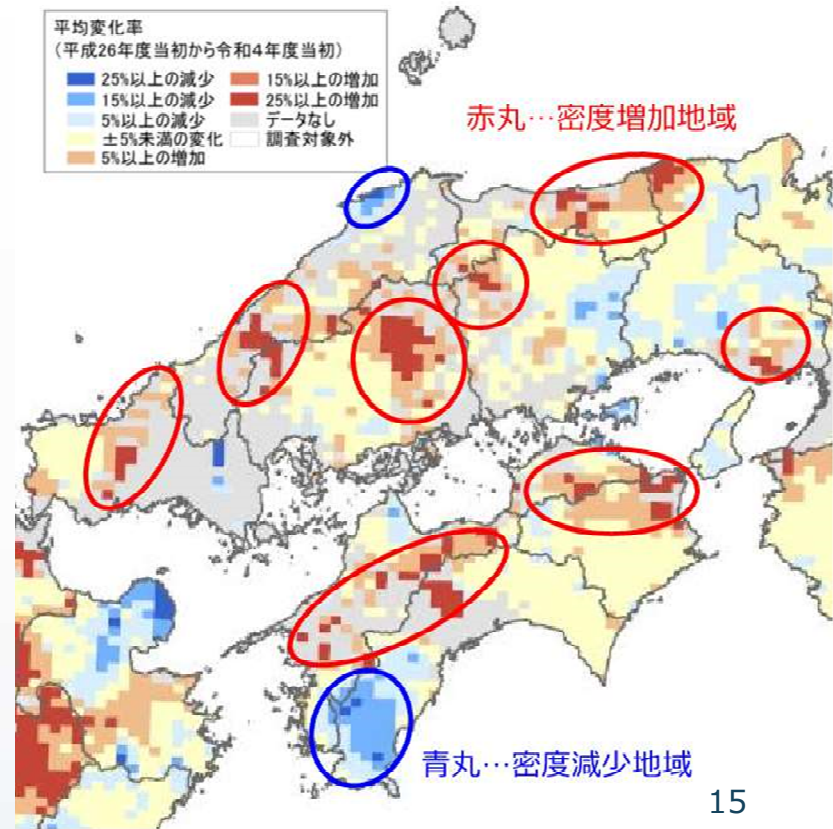
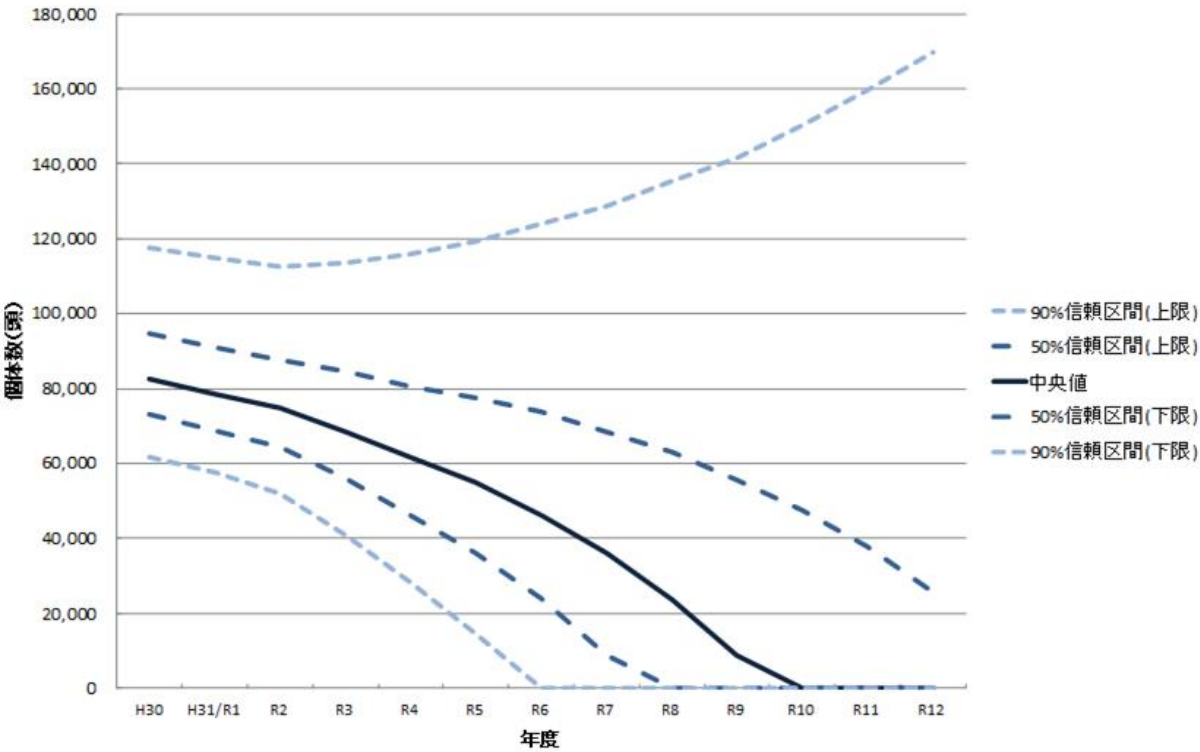


図4. 糞粒調査により算出したシカの生息密度分布（令和2年度）

## 2. 第二種特定鳥獣（ニホンジカ）保護管理計画について

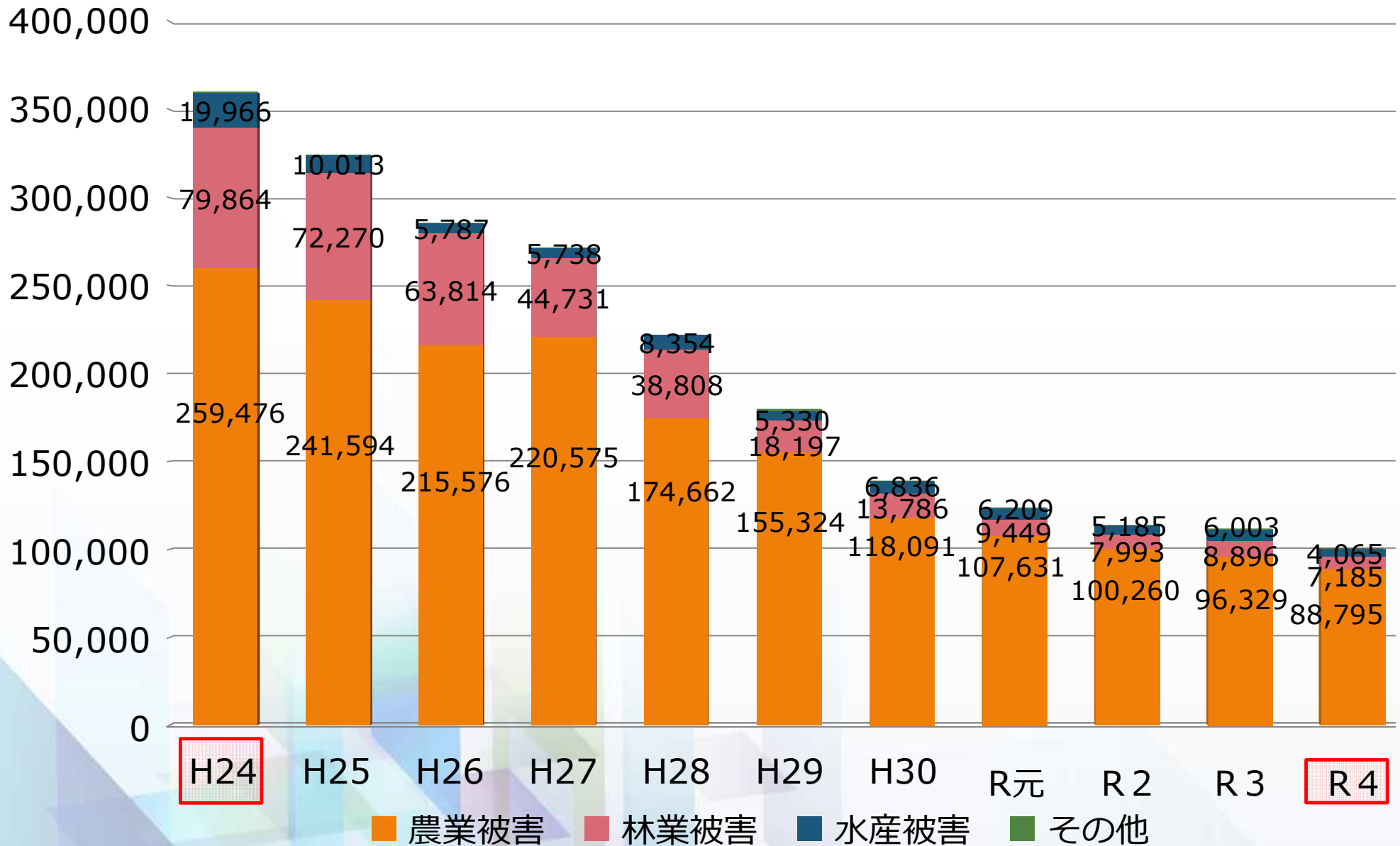
個体数の推定値と捕獲計画に沿った予測値



1. 国内、県内のニホンジカ被害の現状
2. 第二種特定鳥獣（ニホンジカ）  
保護管理計画について
3. 高知県内における鳥獣被害の現状と  
被害対策について



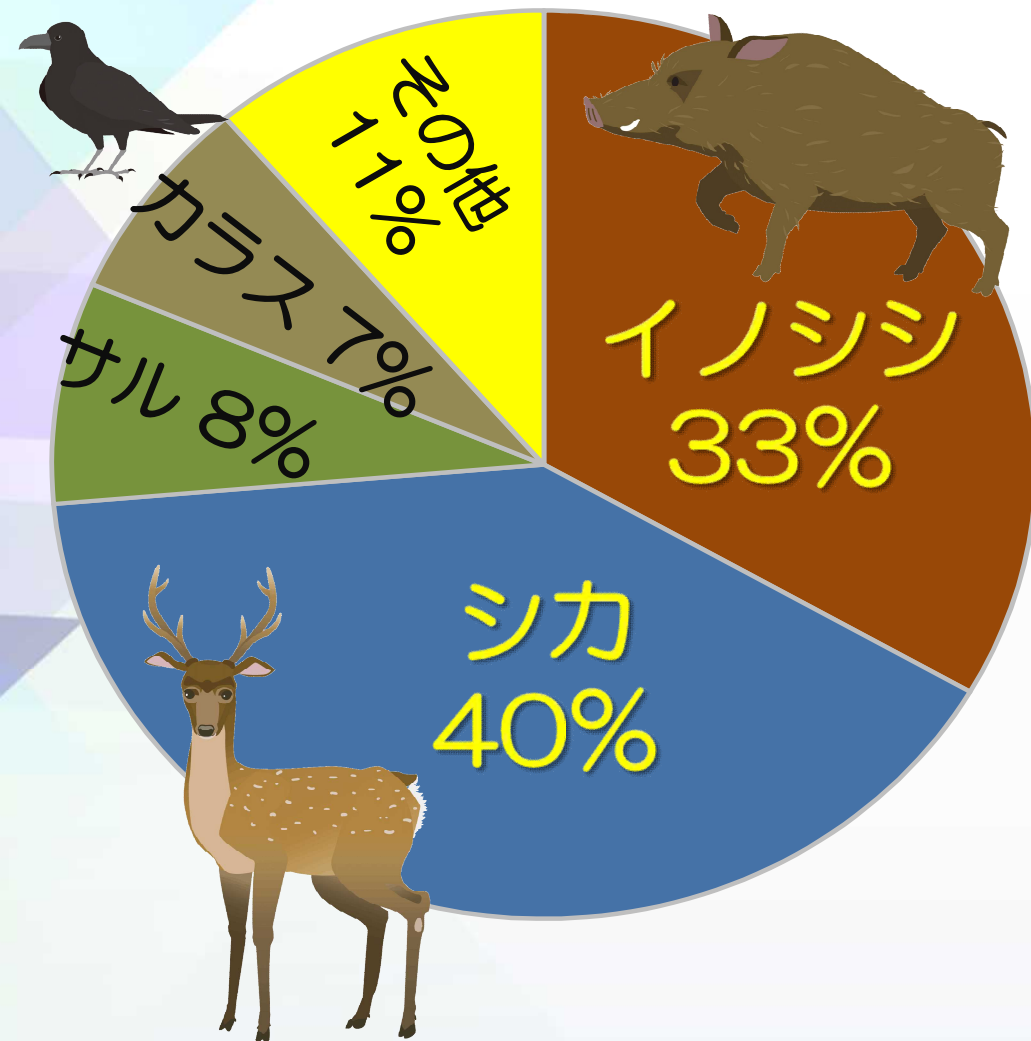
# 高知県の野生鳥獣による被害額の推移



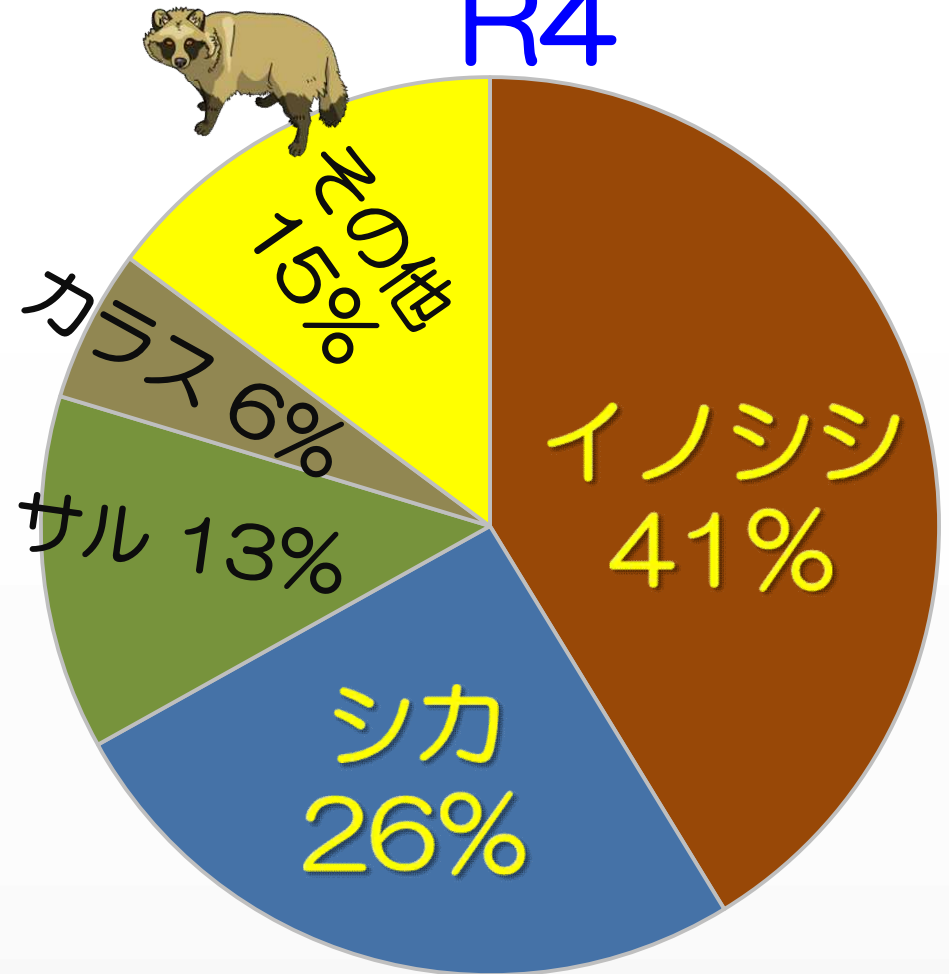
※ 有害捕獲許可に基づく集計

# 加害鳥獣別の被害金額の割合

H24 (ピーク時)



R4



■ イノシシ ■ シカ ■ サル ■ カラス ■ その他

※ 端数処理のため、合計が100%にならない場合がある。

# シカの特徴について①



ニホンジカ

エゾシカ、ホンシュウジカ、ヤクジカなど

オスには角があり、毎年生え替わる

食性＝植物食

胃袋が4つ(反芻)＝硬い木の皮も食害

1,000種類以上の植物を食べる

(毎日3Kg食べる)

昼夜を問わず活動

跳躍力に優れている(1.5mを越える)

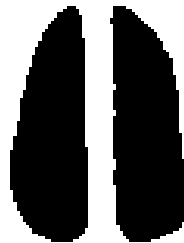
群で生活(秋にはハーレムを形成)

高い繁殖力

メスは満1才で成熟し、10～11月に交尾し

5～6月に出産、以後毎年1頭を出産

妊娠率は80%以上



足跡  
糞

# シカの自然植生被害について

2001年7月



たった二年間で  
多くの植生を喪失した  
三本杭の山頂

2003年9月



# 三嶺



さおりが原 2003年（H15年）8月



さおりが原 2008年（H20年）5月

ディアライン（deer line : ブラウジングラインともいう）

さおりが原2008年（H20年）5月



オオバケイソウ



カヤハゲ2008年（H20年）5月





# シカの食害による変化

2002.7.28



6年後



2008.5.24

1年後



森林破壊

2009.7.24



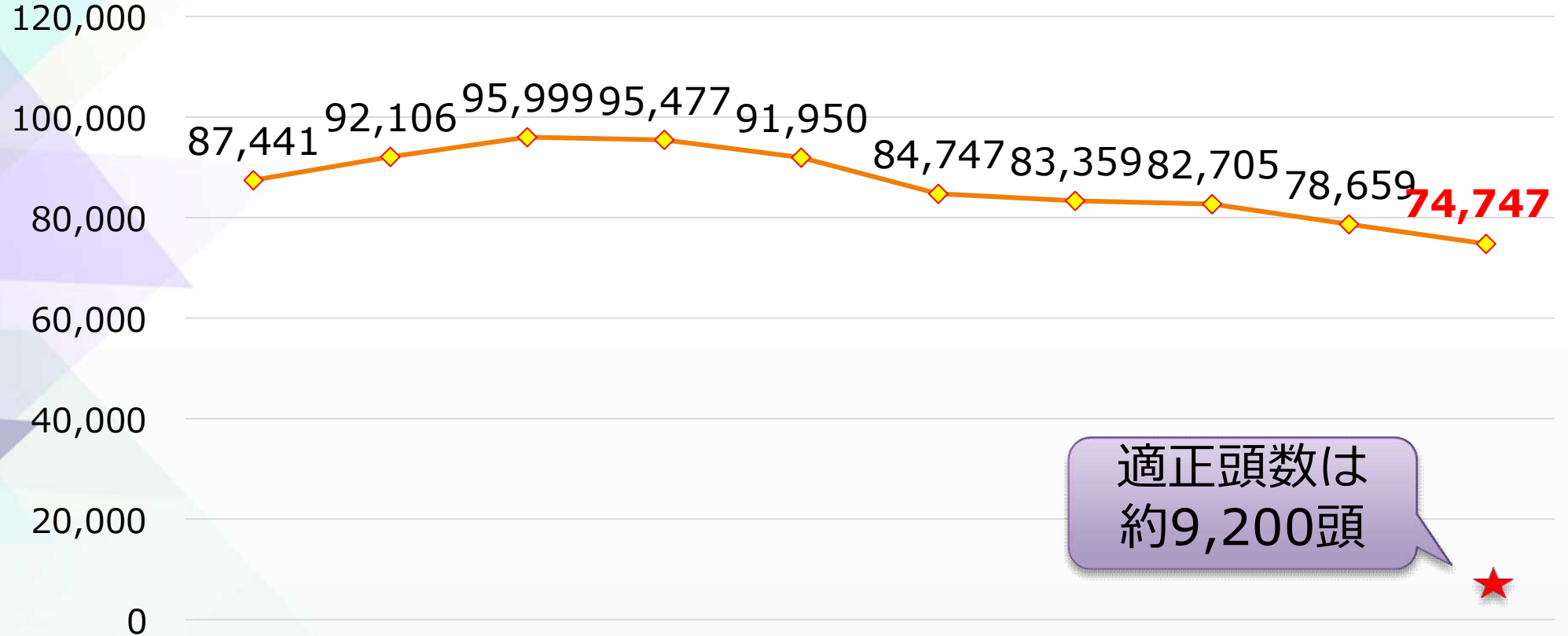
# ベイズ法による高知県におけるシカの生息数の推計

ここでは中央値を示している（推定には幅があることに留意）

※ R2年度末時点

（R2年度までのデータによる推計）

（単位：  
頭）



適正頭数は  
約9,200頭



年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
推定頭数	87,441	92,106	95,999	95,477	91,950	84,747	83,359	82,705	78,659	74,747

# 鳥獣対策課の実施するシカ捕獲推進事業

- シカ個体数調整事業費交付金
- 第二種特定鳥獣捕獲推進事業費補助金
- 指定管理鳥獣捕獲等事業委託料

# シカ個体数調整事業費交付金

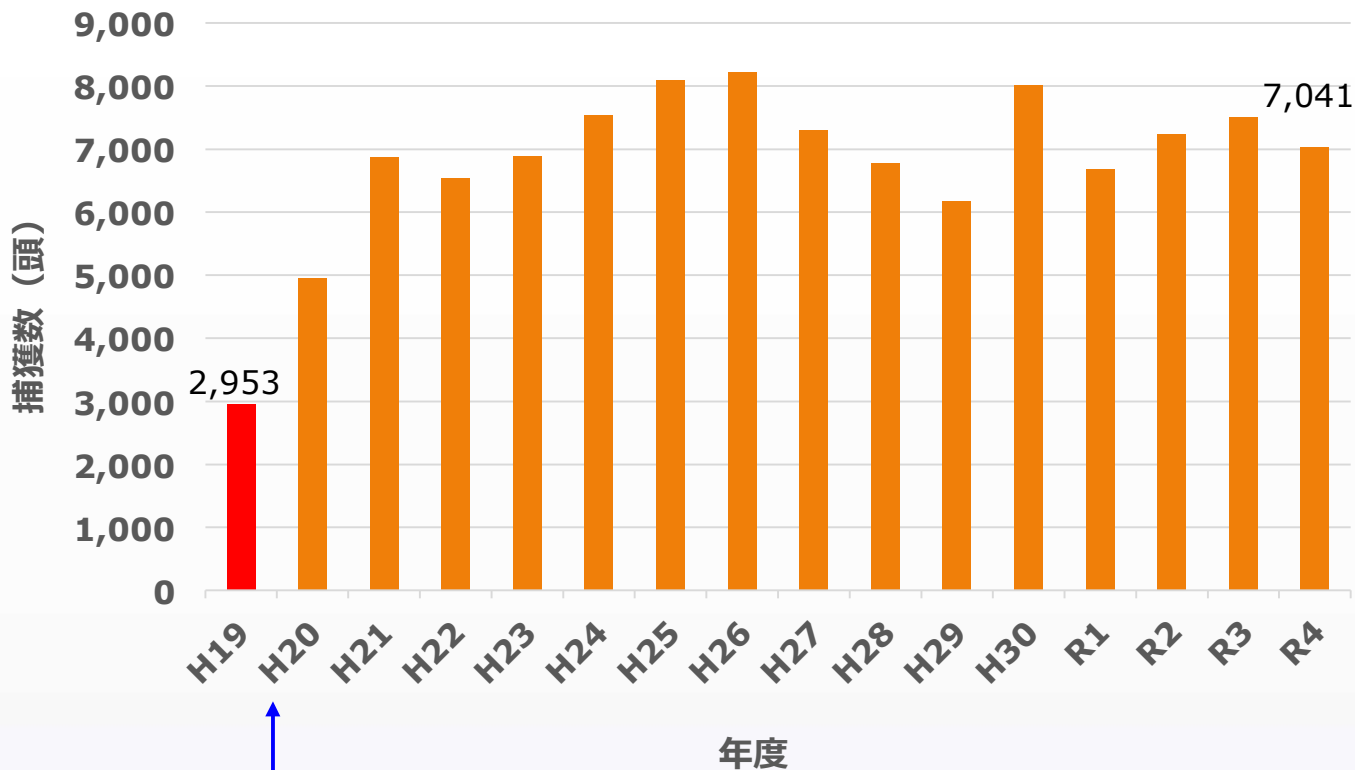
市町村を通じた、狩猟によるシカ捕獲に対する報償金制度で捕獲を推進

## 狩猟によるシカ捕獲頭数の推移

(事業開始年度)  
H20年度～

(交付算定対象)  
狩猟期に狩猟により  
捕獲したシカ

(交付率)  
8,000円/頭



県: 狩猟捕獲 捕獲報償金制度

R4の狩猟はH19の2.3倍まで増加

# 第二種特定鳥獣捕獲推進事業費補助金

シカとイノシシの捕獲に取り組む狩猟者に対して、市町村が配布する  
くくりわなの購入を支援

配布くくりわなによるニホンジカ捕獲実績（頭）

		ニホンジカ年度別捕獲数（頭）										
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
配布年 度	H25 (5,000基)	199	561	820								1,580
	H26 (4,000基)		473	639	472							1,584
	H27 (3,900基)			534	509	419						1,462
	H28 配布なし											
	H29 (1,313基)					122	248	219				589
	H30 (3,699基)						544	1,724	714			2,982
	R1 (4,077基)							385	1,062	648		2,095
	R2 配布なし											
	R3 配布なし											
	R4 (3,304基)										586	586
計 (25,293基)	199	1,034	1,993	981	541	792	2,328	1,776	648	586	10,878	

（事業開始年度）

R4年度～

※過去に同様の事業を実施

（補助算定対象）

くくりわな本体の購入に要する経費

（補助率）

定額（ただし配布対象者1人あたり15基かつ15万円上限）

# 指定管理鳥獣捕獲等事業委託料

高標高域の山岳地など捕獲困難地域でのシカ捕獲を実施

(事業開始年度)  
H28年度～

(事業実施区域)  
一般の狩猟者の捕獲の及ばない、高標高域の国や県指定鳥獣保護区等

令和4年度  
四万十市西土佐 (シカによる下層植生食害が顕著)  
四万十町大正 (植生被害があり、周辺からのシカの流入が予想される。)



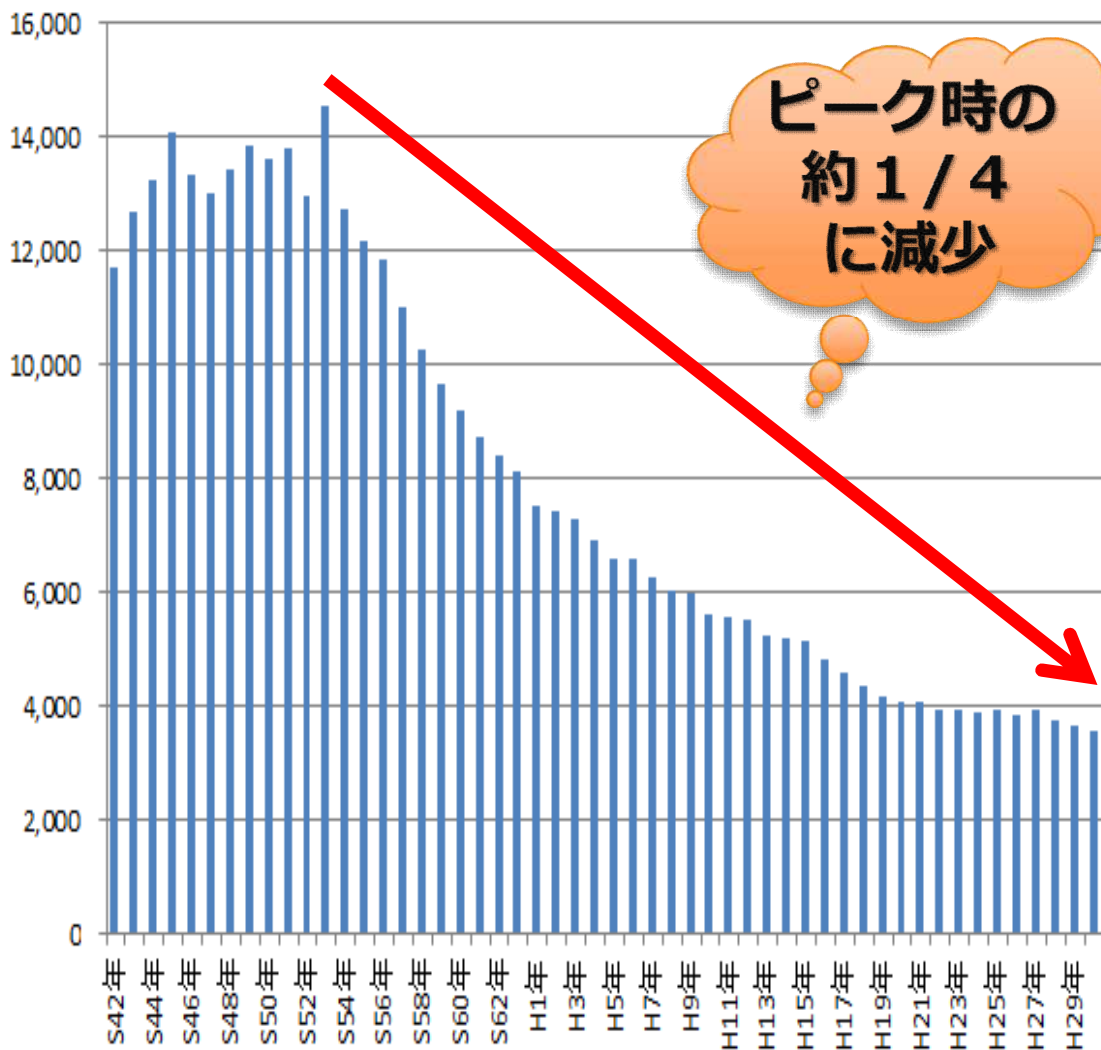


# 狩猟者の現状

有害捕獲の担  
い手不足が深  
刻化

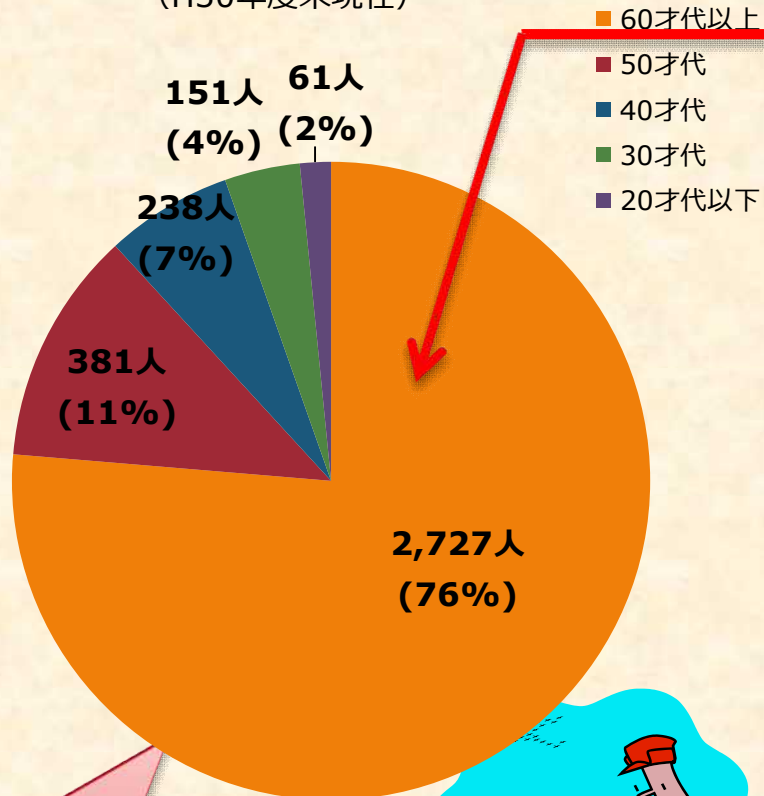
- ・狩猟人口は、昭和53年度をピークに減少の一途
- ・狩猟者の高齢化が顕著

## (1) 高知県猟友会の年度別会員数



## (2) 高知県猟友会員の年齢構成

(H30年度末現在)



狩猟文化や  
技術の伝承が困  
難に



# 狩猟者の確保と育成

## ○狩猟の魅力発信事業委託料

わな猟免許受験予定者を対象とした「体験ツアー」、狩猟の魅力や役割を発信する「狩猟フェスタ」の開催

## ○新規狩猟者確保事業費交付金

狩猟免許取得のための初心者講習会受講料の定額支援  
狩猟免許申請に必要な診断書料の定額支援  
猟銃所持のための射撃教習受講料の定額支援

## ○捕獲委技術講習委託料

「くくりわな製作講習会」や「マンツーマン技術指導」など、狩猟初心者の技術の向上を支援